



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月2日

上場会社名 ケイティケイ株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3035 URL <https://www.ktk.gr.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 英生
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 兼グループ戦略本部長 (氏名) 葛西 裕之 (TEL) 052-931-1881
 定時株主総会開催予定日 2026年11月13日 配当支払開始予定日 2026年10月27日
 有価証券報告書提出予定日 2026年11月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績 (2025年8月21日～2026年8月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	20,192	6.7	557	30.8	648	25.9	489	47.4
2025年8月期	18,927	4.5	426	11.3	515	5.4	332	△3.8

(注) 包括利益 2026年8月期 645百万円 (85.2%) 2025年8月期 348百万円 (△14.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	89.52	—	10.3	6.6	2.8
2025年8月期	60.90	—	7.6	5.7	2.3

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 一百万円 2025年8月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	10,469	5,030	48.1	919.13
2025年8月期	9,335	4,477	48.0	820.19

(参考) 自己資本 2026年8月期 5,030百万円 2025年8月期 4,477百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	1,020	△115	△141	2,961
2025年8月期	264	37	6	2,197

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	8.50	—	8.50	17.00	92	27.9	2.1
2026年8月期	—	10.00	—	11.00	21.00	114	23.5	2.4
2027年8月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00		28.3	

3. 2027年8月期の連結業績予想 (2026年8月21日～2027年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,900	1.6	284	15.0	312	3.0	200	4.3	36.54
通 期	20,400	1.0	610	9.3	670	3.3	425	△13.2	77.65

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年8月期	5,725,000株	2025年8月期	5,725,000株
2026年8月期	251,844株	2025年8月期	265,615株
2026年8月期	5,468,380株	2025年8月期	5,454,181株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年8月期の個別業績（2025年8月21日～2026年8月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	8,917	5.2	308	21.5	404	17.1	351	41.5
2025年8月期	8,475	2.7	253	1.9	345	4.0	248	4.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	64.34	—
2025年8月期	45.59	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	5,817	3,600	61.9	657.88
2025年8月期	5,404	3,321	61.4	608.33

(参考) 自己資本 2026年8月期 3,600百万円 2025年8月期 3,321百万円

2. 2027年8月期の個別業績予想（2026年8月21日～2027年8月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,560	3.2	248	0.0	182	1.8	33.25
通 期	9,200	3.2	420	3.7	300	△14.7	54.81

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4頁「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、全体として緩やかな回復が続きました。一方で、中東情勢や自然災害の影響に加え、金融資本市場の変動等にも留意する必要性があり、依然として先行き不透明な事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループはビジョンである「Change the office mirai」の実現と中長期の成長を目指して策定した中期経営計画「Growth Plan 2027」に沿って、サプライ事業を基盤事業、ITソリューション事業を成長事業と位置付け、グループを挙げて重点施策を推進してまいりました。

サプライ事業におきましては、企業のコスト意識や環境配慮への関心の高まりを背景に、リユース製品の需要を着実に取り込みました。また、リユーストナー市場における業界再編が進む中、新規営業活動を積極的に展開し、新規顧客の獲得を進めるとともに、製造から販売までの一貫体制と高い品質管理力を強みに、自社製品の販売を拡大しました。加えて、文具事務用品等の商品販売も堅調に推移し、事業全体の増収増益に寄与しました。ITソリューション事業におきましては、PC販売が業績をけん引したほか、グループ各社の顧客基盤を活かしたクロスセル・アップセルが進展し、売上高の伸長と収益性の向上を実現しました。これらの取り組みにより、サプライ事業、ITソリューション事業ともに前連結会計年度を上回る増収増益となり、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも過去最高を達成いたしました。

これらの結果、売上高は20,192,379千円(前連結会計年度比6.7%増)、営業利益は557,980千円(前連結会計年度比30.8%増)、経常利益は648,903千円(前連結会計年度比25.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は489,557千円(前連結会計年度比47.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

(サプライ事業)

新規営業活動の強化により、新規顧客の獲得とリユーストナーを中心とする自社製品の拡販が進みました。また、文具事務用品等の商品販売も堅調に推移し、売上高及びセグメント利益の伸長につながりました。

これらの結果、売上高は15,372,267千円(前連結会計年度比5.6%増)、セグメント利益は954,145千円(前連結会計年度比14.7%増)となりました。

(ITソリューション事業)

PC販売が好調を維持したほか、セキュリティ機器・サービス等のクロスセル・アップセルも進展しました。また、グループ各社の顧客基盤を活かし、お客様の課題に応じた提案活動を強化したことにより、売上高、セグメント利益ともに前連結会計年度を上回りました。

これらの結果、売上高は4,820,112千円(前連結会計年度比10.2%増)、セグメント利益は220,615千円(前連結会計年度比37.2%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(イ) 資産

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末に比べ1,133,870千円増加し、10,469,002千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ849,801千円増加し、7,110,984千円となりました。これは、主に現金及び預金が755,634千円、売掛金が80,767千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ284,069千円増加し、3,358,018千円となりました。これは、有形固定資産が61,128千円、投資その他の資産が308,759千円増加し、無形固定資産が85,819千円減少したことによります。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ517,570千円増加し、4,880,624千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が88,650千円、電子記録債務が365,248千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ63,503千円増加し、557,824千円となりました。これは、主に繰延税金負債が67,959千円増加したこと等によります。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ552,795千円増加し、5,030,553千円となりました。これは、主に利益剰

余金が388,017千円、その他有価証券評価差額金が155,872千円増加したこと等によります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ763,807千円増加の2,961,560千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は1,020,832千円となりました。収入の主な要因は、税金等調整前当期純利益729,464千円、仕入債務の増加額453,899千円であり、支出の主な要因は、売上債権の増加額131,126千円等であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は115,471千円となりました。収入の主な要因は、定期預金の払戻による収入636,078千円であり、支出の主な要因は、定期預金の預入による支出627,904千円、有形固定資産の取得による支出108,381千円等であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は141,553千円となりました。支出の主な要因は、短期借入金の純減額20,000千円、配当金の支払額101,153千円等であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
自己資本比率 (%)	43.2	45.9	47.5	48.0	48.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	24.3	36.6	36.7	37.4	40.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	224.0	318.2	377.0	94.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	72.2	45.5	24.4	70.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、引き続き緩やかな回復が期待される一方、中東情勢や自然災害、継続的な物価上昇、金融資本市場の変動等により、先行き不透明な状況が続くことが懸念されております。

このような状況の中、当社グループはビジョンである「Change the office mirai」を実現すべく、2025年8月期から2027年8月期までの3ヵ年の中期経営計画「Growth Plan 2027」を策定し、一層力強い成長を目指して取り組んでおります。中期経営計画の基本方針として「顧客基盤の活用と強化」と「事業ポートフォリオの転換」の2つを掲げており、基盤事業であるリユーストナーや文具事務用品などのサプライ事業の堅守、及び成長事業である顧客のDX推進を支援するITソリューション事業の拡大を目指し、グループ一丸となって今後も重点施策を推し進めてまいります。

サプライ事業においては、製造直販型ビジネスの強みを基盤に、リユーストナーを中心とする新規顧客の開拓と適正な価格改定による収益性の向上を図るとともに、自社ECサイト「YORIDORI」をプラットフォームとした顧客参画型のリユーストナー循環システム「サステナブルパートナープログラム」を推進し、カートリッジの循環利用と環境価値の見える化を通じた循環型社会への貢献及びさらなるシェアの拡大を目指してまいります。ITソリューション事業においては、複合機販売を起点とした提案型ビジネスの展開に加え、PC、セキュリティ対策商品、ネットワーク、クラウドサービス等の拡販に注力し、グループ各社の顧客基盤やデジタルマーケティング、スキャニングの技術・スキルを活かすことで、お客様の多様な経営課題に対応する高付加価値なソリューションの提供を強化してまいります。また、オフィス家具を主体としたワークプレイス提案に加え、ITインフラやDX支援、エンゲージメント向上への取り組みを組み合わせることで、お客様の働く環境全体の価値向上を支援する「ワークプレイス・サービスプロバイダー」への進化を図ってまいります。

さらに、当社グループの事業価値であるサステナビリティへの取り組みについては、「事業活動と経営戦略の中心にSDGsの理念を据えて持続可能な社会の実現に貢献する」という基本方針のもと、重要課題（マテリアリティ）として「環境貢献」「DX」「人材育成・ダイバーシティ」「経営基盤強化」を特定しております。今後も経営環境の変化に迅速に対応しつつ、企業価値向上に邁進するとともに、経営資源の最適な配分を行い、コーポレートガバナンスの強化と持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

上記の取り組みを推進することで、2027年8月期における通期連結業績は、売上高20,400百万円（前期比1.0%増）、営業利益610百万円（前期比9.3%増）、経常利益670百万円（前期比3.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益425百万円（前期比13.2%減）を見込んでおります。

引き続き需給動向を注視し、業績に影響が見込まれる場合は、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、将来のIFRS(国際財務報告基準)適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月20日)	当連結会計年度 (2026年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,522,722	3,278,356
受取手形	260,476	35,576
電子記録債権	107,006	382,264
売掛金	2,487,731	2,568,499
商品及び製品	689,991	632,512
原材料及び貯蔵品	112,139	136,597
その他	83,152	81,323
貸倒引当金	△2,037	△4,147
流動資産合計	6,261,183	7,110,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,363,493	1,382,696
減価償却累計額	△1,025,503	△1,054,142
建物及び構築物（純額）	337,990	328,553
機械装置及び運搬具	232,383	241,168
減価償却累計額	△206,055	△212,625
機械装置及び運搬具（純額）	26,327	28,543
土地	1,150,441	1,208,539
その他	307,873	319,948
減価償却累計額	△268,486	△270,307
その他（純額）	39,387	49,640
有形固定資産合計	1,554,147	1,615,276
無形固定資産		
のれん	146,722	99,665
ソフトウェア	151,351	116,384
その他	10,065	6,270
無形固定資産合計	308,139	222,320
投資その他の資産		
投資有価証券	641,972	945,762
退職給付に係る資産	209,630	207,172
繰延税金資産	12,068	13,449
保険積立金	98,791	99,095
その他	250,453	258,022
貸倒引当金	△1,255	△3,081
投資その他の資産合計	1,211,661	1,520,421
固定資産合計	3,073,949	3,358,018
資産合計	9,335,132	10,469,002

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 8 月20日)	当連結会計年度 (2026年 8 月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,499,204	1,587,855
電子記録債務	1,130,559	1,495,807
短期借入金	968,996	946,246
未払法人税等	129,134	156,203
賞与引当金	85,075	85,731
役員賞与引当金	21,688	26,097
株主優待引当金	16,308	15,426
その他	512,087	567,257
流動負債合計	4,363,054	4,880,624
固定負債		
長期借入金	25,432	9,186
繰延税金負債	100,796	168,756
役員退職慰労引当金	32,685	36,213
退職給付に係る負債	136,586	148,110
資産除去債務	1,953	1,986
その他	196,866	193,571
固定負債合計	494,320	557,824
負債合計	4,857,374	5,438,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	669,980	673,441
利益剰余金	3,384,537	3,772,555
自己株式	△98,021	△92,576
株主資本合計	4,251,172	4,648,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,585	382,458
その他の包括利益累計額合計	226,585	382,458
純資産合計	4,477,758	5,030,553
負債純資産合計	9,335,132	10,469,002

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年 8 月 21 日 至 2025年 8 月 20 日)	当連結会計年度 (自 2025年 8 月 21 日 至 2026年 8 月 20 日)
売上高	18,927,608	20,192,379
売上原価	14,475,517	15,327,617
売上総利益	4,452,090	4,864,761
販売費及び一般管理費	4,025,377	4,306,781
営業利益	426,713	557,980
営業外収益		
受取利息	1,378	3,272
受取配当金	19,747	20,806
仕入割引	37,049	34,503
受取家賃	45,059	45,243
その他	8,169	25,468
営業外収益合計	111,403	129,294
営業外費用		
支払利息	10,842	14,455
不動産管理費	9,785	9,775
投資事業組合管理費用	—	10,835
その他	2,212	3,304
営業外費用合計	22,841	38,370
経常利益	515,275	648,903
特別利益		
保険解約益	1,071	—
投資有価証券売却益	46,055	80,668
特別利益合計	47,127	80,668
特別損失		
投資有価証券評価損	202	—
固定資産除却損	172	107
固定資産売却損	108	—
150周年記念関連費用	11,931	—
特別損失合計	12,415	107
税金等調整前当期純利益	549,987	729,464
法人税、住民税及び事業税	207,416	253,957
法人税等調整額	10,373	△14,049
法人税等合計	217,789	239,907
当期純利益	332,198	489,557
親会社株主に帰属する当期純利益	332,198	489,557

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年 8 月21日 至 2025年 8 月20日)	当連結会計年度 (自 2025年 8 月21日 至 2026年 8 月20日)
当期純利益	332, 198	489, 557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16, 396	155, 872
その他の包括利益合計	16, 396	155, 872
包括利益	348, 594	645, 430
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	348, 594	645, 430

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年8月21日 至 2025年8月20日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	294,675	667,210	3,142,294	△103,790	4,000,389	210,189	210,189	4,210,578
当期変動額								
剰余金の配当			△89,954		△89,954			△89,954
親会社株主に帰属する 当期純利益			332,198		332,198			332,198
自己株式の取得					—			—
自己株式の処分		2,770		5,769	8,539			8,539
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						16,396	16,396	16,396
当期変動額合計	—	2,770	242,243	5,769	250,783	16,396	16,396	267,179
当期末残高	294,675	669,980	3,384,537	△98,021	4,251,172	226,585	226,585	4,477,758

当連結会計年度(自 2025年8月21日 至 2026年8月20日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	294,675	669,980	3,384,537	△98,021	4,251,172	226,585	226,585	4,477,758
当期変動額								
剰余金の配当			△101,137		△101,137			△101,137
親会社株主に帰属する 当期純利益			489,557		489,557			489,557
自己株式の取得				△36	△36			△36
自己株式の処分		3,460	△403	5,480	8,538			8,538
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						155,872	155,872	155,872
当期変動額合計	—	3,460	388,017	5,444	396,922	155,872	155,872	552,795
当期末残高	294,675	673,441	3,772,555	△92,576	4,648,095	382,458	382,458	5,030,553

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2024年8月21日 至 2025年8月20日)	当連結会計年度 (自 2025年8月21日 至 2026年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	549,987	729,464
減価償却費	103,190	96,901
のれん償却額	48,838	47,057
株式報酬費用	8,639	8,539
貸倒引当金の増減額(△は減少)	211	3,936
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,961	3,527
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,968	4,408
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,015	655
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△997	△882
受取利息及び受取配当金	△21,125	△24,078
支払利息	10,842	14,455
固定資産除却損	172	107
固定資産売却損益(△は益)	108	—
保険解約損益(△は益)	△1,071	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△46,055	△80,668
投資有価証券評価損益(△は益)	202	—
売上債権の増減額(△は増加)	△242,553	△131,126
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,162	33,020
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,900	453,899
その他	69,607	80,562
小計	415,957	1,239,779
利息及び配当金の受取額	21,125	24,078
利息の支払額	△10,745	△14,412
法人税等の支払額	△161,762	△228,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,573	1,020,832
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△110,996	△627,904
定期預金の払戻による収入	159,202	636,078
有形固定資産の取得による支出	△22,890	△108,381
有形固定資産の売却による収入	83	—
無形固定資産の取得による支出	△39,067	△18,450
投資有価証券の取得による支出	△12,616	△70,682
投資有価証券の売却による収入	65,307	84,062
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	646	—
差入保証金の差入による支出	△11,583	△14,807
差入保証金の回収による収入	2,843	6,792
保険積立金の積立による支出	△1,611	△303
保険積立金の解約による収入	10,047	—
長期前払費用の取得による支出	△1,819	△2,729
その他	399	855
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,946	△115,471

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年 8 月21日 至 2025年 8 月20日)	当連結会計年度 (自 2025年 8 月21日 至 2026年 8 月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	140,000	△20,000
長期借入金の返済による支出	△42,666	△18,996
配当金の支払額	△90,184	△101,153
その他	△834	△1,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,315	△141,553
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	308,835	763,807
現金及び現金同等物の期首残高	1,888,917	2,197,752
現金及び現金同等物の期末残高	2,197,752	2,961,560

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「サプライ事業」は、リサイクル商品、OAサプライ商品、文具事務用品などのオフィス関連商品、オフィス家具の販売を行っております。「ITソリューション事業」は、PC、ソフトウェアを含むDX推進を支援する商品、複合機、ネットワーク関連商品の販売等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年8月21日 至 2025年8月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,553,672	4,373,935	18,927,608	—	18,927,608
外部顧客への売上高	14,553,672	4,373,935	18,927,608	—	18,927,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,668	185,387	251,056	△251,056	—
計	14,619,341	4,559,322	19,178,664	△251,056	18,927,608
セグメント利益	832,003	160,792	992,795	△566,082	426,713
その他の項目					
減価償却費	73,867	11,970	85,837	17,352	103,190
のれん償却額	5,696	43,142	48,838	—	48,838

(注)1 セグメント利益の調整額△566,082千円は、セグメント間取引消去35,768千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△601,850千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「調整額」の区分の「減価償却費」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

4 セグメント資産については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

当連結会計年度(自 2025年8月21日 至 2026年8月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	15,372,267	4,820,112	20,192,379	—	20,192,379
外部顧客への売上高	15,372,267	4,820,112	20,192,379	—	20,192,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,530	175,043	249,574	△249,574	—
計	15,446,798	4,995,156	20,441,954	△249,574	20,192,379
セグメント利益	954,145	220,615	1,174,761	△616,780	557,980
その他の項目					
減価償却費	70,456	14,237	84,693	12,207	96,901
のれん償却額	5,696	41,360	47,057	—	47,057

- (注)1 セグメント利益の調整額△616,780千円は、セグメント間取引消去23,570千円、各報告セグメントに分配していない全社費用△640,351千円であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 「調整額」の区分の「減価償却費」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。
- 4 セグメント資産については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年8月21日 至 2025年8月20日)	当連結会計年度 (自 2025年8月21日 至 2026年8月20日)
1株当たり純資産額	820円19銭	919円13銭
1株当たり当期純利益	60円90銭	89円52銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2025年8月20日)	当連結会計年度 (2026年8月20日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計金額(千円)	4,477,758	5,030,553
普通株式に係る純資産額(千円)	4,477,758	5,030,553
普通株式の発行済株式数(株)	5,725,000	5,725,000
普通株式の自己株式数(株)	265,615	251,844
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	5,459,385	5,473,156

2 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2024年8月21日 至 2025年8月20日)	当連結会計年度 (自 2025年8月21日 至 2026年8月20日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	332,198	489,557
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	332,198	489,557
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	5,454,181	5,468,380

(重要な後発事象)

該当事項はありません。